



平成 16 年 11 月 15 日

各 位

上場会社名	株式会社 ケー・エフ・シー
本店所在地	大阪市北区西天満 3 丁目 2 番 17 号
代表取締役社長	吉 田 隆 興
コード番号	3 4 2 0 大証 (市場第 2 部)
問 合 せ 先	責任者役職名 常務取締役管理統括部長
	氏 名 山 口 宏
	電 話 番 号 06-6363-4188

**「子会社株式評価損の発生」並びに  
「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用及び  
平成 17 年 3 月期中間業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は平成 16 年 11 月 15 日開催の取締役会において、財務諸表の透明性を高め、出来る限り速やかに財務体質の健全化を図るために、下記のとおり「子会社株式の評価損」及び「固定資産の減損に係る会計基準」を平成 17 年 3 月期において早期適用することとし、当中間期において特別損失に計上することを決議致しました。あわせて、平成 16 年 5 月 17 日に発表しました平成 17 年 3 月期中間業績予想を以下のとおり修正致しましたので、お知らせ致します。

## 記

## 1. 子会社株式評価損の発生

当社の連結子会社であるジョンレイン オブ ホイック社 (英国 スコットランド) の株式につき、業績及び財政状態の悪化により実質価額が帳簿価額と比較し著しく低下しているものと判断し、中間期末日現在の実質価格 (純資産額) と帳簿価格との差額 534 百万円を「子会社株式評価損」として単独決算の特別損失に計上致します。

## 2. 「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用にともなう損失

当社は、平成 17 年 3 月期から「固定資産の減損会計に係る会計基準」を早期適用することとし、同基準に従い、現在の事業環境及び今後の稼動見込み等を総合的に勘案し、固定資産及びリース資産の見直しを行った結果、市場開拓の遅れ等により、将来キャッシュ・フロー見積期間にわたって回収可能性が認められない一部資産について減損処理を行い、その影響額 300 百万円を連結及び単独決算において「減損損失」として特別損失に計上致します。

## 参考

(単位：百万円)

	単独	連結
子会社株式評価損	534	-
減損損失	300	300
合計	834	300

## 3. 中間業績予想の修正

(1) 平成 17 年 3 月期中間業績予想数値の修正 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 16 年 5 月 17 日発表)	8,500	426	260
今回修正予想 (B)	7,351	742	1,070
増減額 (B) - (A) [KFC1]	1,149	316	810
増 減 率 [KFC2]	13.5%	-	-
前期 (平成 16 年 3 月期) 実績	8,884	579	522

(2)平成 17 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成 16 年 5 月 17 日発表）	10,000	400	240
今回修正予想（B）	8,255	783	759
増減額（B）-（A）[KFC3]	1,745	383	519
増減率[KFC4]	17.4%	-	-
前期（平成 16 年 3 月期）実績	9,523	683	492

(3)修正の理由

単独業績予想

売上高は当社の関連する建設業界におきまして、公共投資の減少や工事の発注遅延及び競争激化にともなう受注減などの影響を受け、当社予想値を下回る見込みであります。

収益面につきましては、引続きコストの圧縮に努め、販売費及び一般管理費は削減しましたが、売上高の減少と原材料価格の高騰が大きく影響し、経常損失は減少する見込みであります。又、特別損失において上記「子会社株式評価損」や「固定資産の減損に係る会計基準」を平成 17 年 3 月期において早期適用することとし、当中間期において減損損失を計上することなどにより、中間純損失も当初予想を大きく下回る見通しとなり、前回公表しました業績予想を上記のとおり修正致します。

連結業績予想

平成 17 年 3 月期中間連結業績につきましては、主に当社の単独業績予想修正によるものであります。

4. 通期業績予想の修正

通期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）の業績予想につきましては、現在精査検討中であり、11 月 24 日（水）発表予定の平成 17 年 3 月期中間決算発表時にお知らせ致します。

以上